

# 経尿道的膀胱結石破砕術を受けられる 様へ

説明医師

P1/2

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目 (退院日)
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる		手術に伴う合併症の出現が最小限にとどめられる (血尿、腎盂腎炎などの感染症状、深部静脈血栓症など) 疼痛コントロールが図れる		退院後の生活上の注意点が述べられる	
検査	身長、体重測定 レントゲン 撮影			採血 レントゲン 撮影		
食事	夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用		帰宅6時間後 より水分開始	水分は1日1.5ℓを目安に摂取 朝より食事再開		退院日は朝食のみ
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで)	点滴の針を留置します	手術後以下の挿入物 装着物があります			退院時に リストバンドを 外します
	弾性ストッキングの サイズを測定し、お渡し します	時間になれば 看護師が手術 室にご案内 します	・酸素 → 取り外し ます ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外 します ・尿道カテーテル → 医師判断のもと取り外し、 数回排尿を確認します			
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります(血圧自己測定も実施予定です)						
点滴・内服	持参薬、お薬 手帳を看護師 にお渡し ください	手術室で点滴 を開始します (手術が午後の 場合は、病棟で点滴 を開始します)	以下の点滴を 行います			
			・持続点滴 → ・抗菌薬 →			
行動・リハビリ	シャワー浴 できます	以下の手術準備をします			シャワー浴できます (週3回、病棟毎で日が異なります)	
		・シャワー浴 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の 取り外し				
	制限はありません	翌朝までベッド 上安静です (寝返り可)	歩行を開始します		朝食後 退院です	
			尿道カテーテル抜去後は トイレで排尿できます			
説明	医師・麻酔科医より説明 (外来又は入院時)	医師より説明			医師より説明	
	・治療計画について ・手術について ・麻酔について	・手術結果について			・退院後の治療計画、 療養上の留意点に ついて	
	病棟・手術室看護師より説明	看護師より説明			看護師より	
	・入院生活について (パスシートを使用) ・手術について	・術後の注意点につ いて ・安静について ・下肢運動について ・水分摂取の必要性 ・尿意、疼痛が強い場 合はナースコール	看護師より説明 ・水分摂取について (1日1.5ℓを目安に摂取)		・退院後の療養生活 について(退院療養計 書をお渡しします)	
	薬剤師より説明					
	・持参薬確認 ・使用薬剤について					

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください 17-N210-1 2023.5.8版 京都第一赤十字病院

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

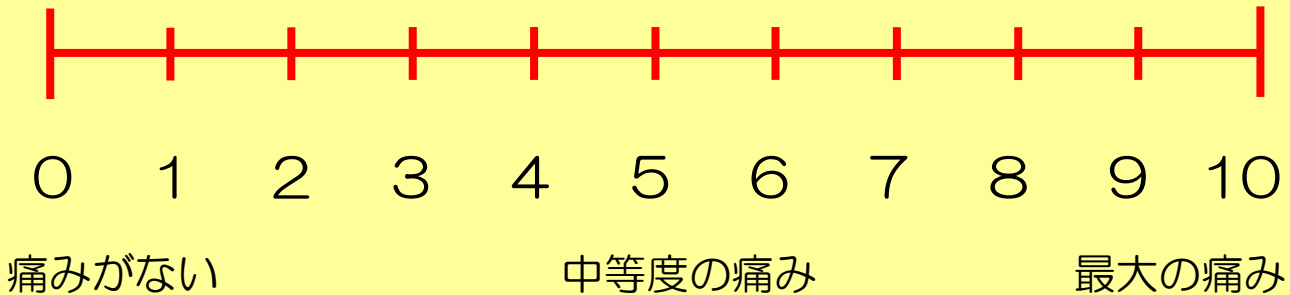
## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

👉 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合  
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。

